

成長型林業の推進について

【担当省庁】農林水産省

国では、林業の成長産業化を図るため、国産材の安定的・効率的な供給体制の構築や木材の加工・流通施設の整備、国産材 C L T の生産体制の構築などを推進していくこととしており、地方創生の総合戦略にも位置づけられている。

京都府においても、「成長型林業構想」を策定し、木材の大型加工施設の誘致を核に、素材生産量を 19 万 m³(平成 25 年度)から 28 万 m³(平成 30 年度)に拡大するとともに、C L T 等新たな木材需要の創出を図っていくこととしており、これを推進するため、国において、以下の措置を講じていただきたい。

公共建築物等における C L T の利用拡大

C L T (直交集成板)は、高い断熱・遮音・耐火性を持つこと、また、木質資源の活用による環境性能の高さから、次世代の建築材料として注目され、近年、ヨーロッパだけでなくアメリカ等各国での利用が急速に伸びており、我が国においても、C L T の本格的な普及を促進することが重要である。

については、木材需要の拡大を通じた林業の成長産業化に資する C L T の利用を推進するため、公共施設の木造化に対する支援制度の中に C L T 利用の特別枠を創設していただきたい。

森林整備加速化・林業再生事業の恒久化

京都府では、国の森林整備加速化・林業再生対策により、木材の生産拡大や需要拡大に取り組み、その結果、効率的な林業施策が進み素材生産量は増加し、加工能力も約 4 万 m³増加(平成 24 年度平成 25 年度)しており、林業・木材産業の活性化が進んでいる。

今後も林業の成長産業化に向けた施策を積極的に進めていくため、平成 27 年度までとされている森林整備加速化・林業再生事業を恒久化していただきたい。

< 活用例 >

木造公共施設等整備、木材加工流通施設等整備、木質バイオマス利用施設等整備、高性能林業機械の導入、森林・林業人材育成対策 等

【現状・課題等】

C L T 活用事例（京都府茶業研究所）

宇治茶産業の活性化や世界文化遺産登録に向けた発信の拠点としてリニューアル整備。府民交流、研究交流、担い手交流としての施設

建物概要

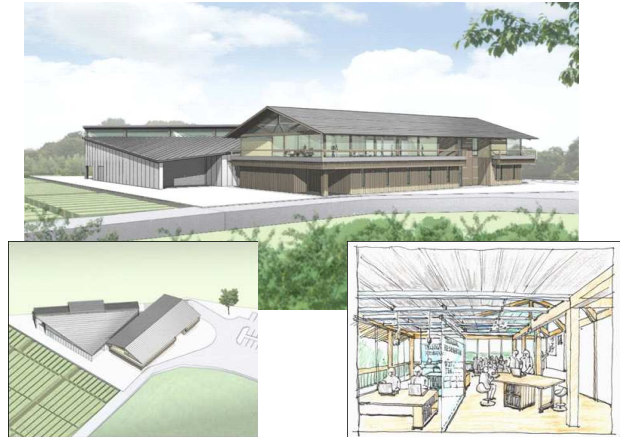
- ・構造：木造2階建て
- ・延床面積：約 1,000m²

工程

【平成 27 年度】基本設計、実施設計

【平成 28 年度第二四半期～平成 29 年度第二四半期】木材調達・加工

【平成 29 年度】新築工事、供用開始



完成イメージ図

公共施設木造化支援制度

< 公共施設の木造化に対する支援制度(既存事業) >

事業の種類	予算の性質	補助対象経費	補助率(建築費)	課題
「木造公共施設整備等に係る予算」 (林野庁所管)	「森林・林業再生基盤づくり交付金」 (林野庁所管)	・実施設計費	1/2以内	モデル的で多数の人が利用する施設を優先採択 CLT活用が不利
	「森林整備加速化・林業再生交付金」 (林野庁所管)	・建築費	知事特認 1/2以内 知事特認以外 木造化：15%以内	新規性、コスト削減等、事業採択要件が厳しい
「木造建築技術先導事業」	国土交通省予算	・設計費 ・建築費	・木造化の掛かり増し費用の1/2 ・上記費用の算出が困難な場合 木造化：工事費の15%	先導性の要件が厳しく補助率が低い

森林整備加速化・林業再生事業の成果

高性能林業機械の導入事例（平成 25 年度整備）



ハーベスタ（京都市森林組合）

- ・京都府における高性能林業機械の保有台数は着実に増加

【保有台数】

H20年度：22台

H26年度：46台

木材加工施設の整備事例（平成 26 年度整備）



- ・造作材、ラミナを製造する設備を整備
- ・これまで外材が主だったが、国産材へシフト

【国産材取扱い量】

（現状）	（目標（H28年度））
6,000m ³	25,000m ³

（有）日新製材所（京丹波町）

木造公共施設施工事例（平成 26 年度完成）



弥栄統合保育所（京丹後市）



峰山統合保育所（京丹後市）

【京都府の担当課】

農林水産部 林務課 075-414-5016